

奈良民商ニュース

発行 奈良民主商工会
奈良市大森西町13-16
電話0742-33-7266
FAX 0742-34-5826
HP naramsyo.jp



「これからもお客さんがある限り、商売を続けたい」と話す岡田恵美子さん

相続の登記 自分でできた！

喫茶おかだ」を営む岡田恵美子さん（南支部）はさきごろ、相続による土地・建物の名義変更のための登記手続きを、自らの手でやり上げました。岡田さんは「何でも自分でできるもんやね」と自信を深めています。

記帳会

【日時】
10月21日（水）
13:30
【持ち物】
領収書・帳簿
筆記用具・電卓



岡田さんは喫茶店を営業して30年。40年以上連れ添ったご主人を今年1月、亡くしました。四十九日や百箇日の法要、初盆も終えてようやく落ちつき、遺品整理などをすすめる中、土地・建物の名義変更もしておかないといけない」と思い立ちました。そこで岡田さんは「どうしたらできるの?」と、上杉晴美事務局員に相談。市役所で、戸籍謄本、除籍謄本、固定資産税・課税明細書などの書類を揃えて、法務局に申請することを知りました。

岡田さんは、さっそく法務局へ出向き、相談コーナーで書き方を教えてもらい、申請書を書きで作成。9月初めに申請を行いました。25日までに補正の連絡がなければ、申請は受理される」との表示通り、法務局からの連絡はなく、9月末には新しい登記識別情報を受け取り、無事名義変更が完了しました。

岡田さんは、市役所や法務局の人が親切に教えてくれたから助かった」と「これからも民商に相談して、自分でできることは自分でやりたい」と話しています。

絵手紙教室

絵手紙教室は、新型コロナウイルスの感染予防と、みなさんの健康を守るためにしばらくお休みします。

感染防止のため活用を

共済会が検温器を設置



検温器を手にする三輪昭三共済会会長

奈良民商共済会はさきごろ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、インフルエンザ予防も兼ねて、非接触の検温器」を事務所に設置。来訪者に活用を呼びかけています。

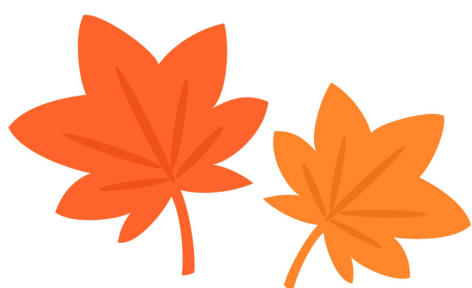
共済会の役員会は、三輪昭三共済会会長Ⅱ大工Ⅱ（済美南）の「民商事務所に、非接触の検温器を置こう」との提案を受けて協議を重ね、9月、これから総会など、人の集まる機会が

増えるので、検温器を置こう」と決めました。

三輪会長は、当初、インターネットで購入を検討しましたが、性能を確認するためには実物を見る必要がある」と考え、家電店で購入することに。

お店を訪れ店員さんに尋ねると、大荷してもすぐに売り切れる」と聞き、店頭にあった最後の2個を購入しました。

三輪会長は「検温器がみなさんの健康のお役に立てれば」と話しています。



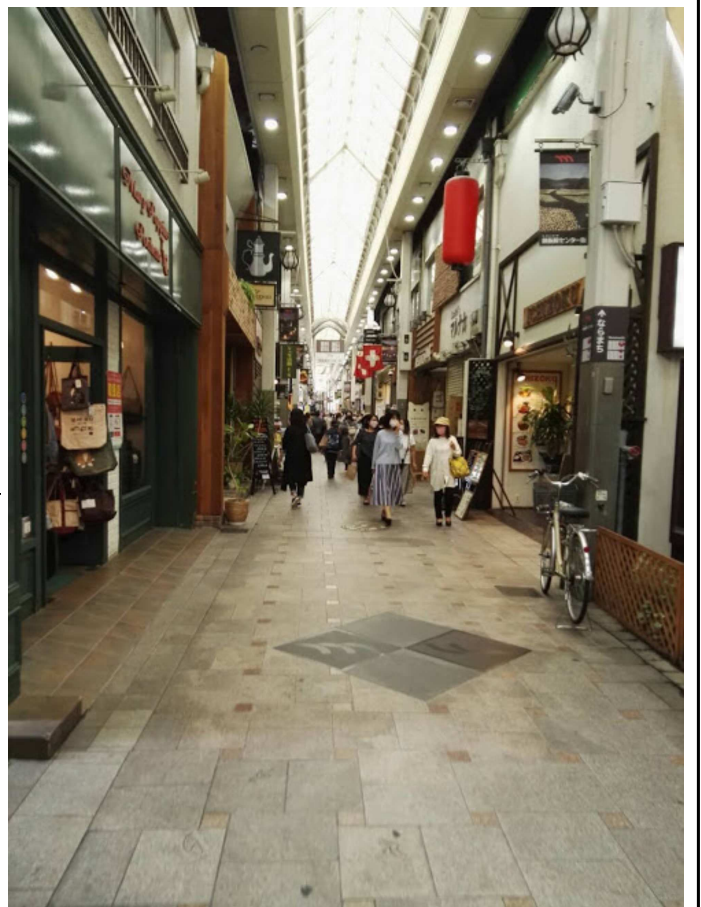
申請を考えよう！ Go To Eat キャンペーン 加盟店登録は20日(火)まで 申請はWEBまたはFAXで

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている飲食業者を支援するため、国の「Go To Eat キャンペーン」が始まります。

内容は、①25%のプレミアム付食事券（1セット5000円分が4000円）の発行、②オンライン予約のポイント付与の2つです。

参加を希望する業者は事前に登録が必要。デリバリーやテイクアウト専門店は対象外となります。換気の徹底や消毒液、パーティションの設置、座席間隔を広げるなど、感染症対策を行うことが条件です。申請方法はインターネットかFAXで。期限は10月20日です。

申請受付が9月25日、スタートし、食堂・みやげものの店を営



平日の東向商店街。客足はまばらです。

むSさん（鼓阪支部）は30日、さっそく申請。10月3日に登録されました。Sさんは「支援策はありがたいけれど、申請期間が短すぎる。もっと余裕がほしい」と訴えます。また、居酒屋を営むMさん（済美支部）は「うちは常連さんが中心なので、登録は考えていない。登録してもうちで食事券を使う人は少ないのでは」と話します。

食事券の入金は月1回。オンライン予約では手数料の負担が発生します。効果があるかどうか、よく考えて申請することが必要です。

民商は申請の支援を行っています。Go To Eat キャンペーンをはじめ、コロナ対策のことは何でも民商にご相談下さい。

4～9月に44人が入会 秋の運動でもがんばろう

奈良民商は10月1日、理事会を開催し、浜中達也会長（製菓）
大安寺支部）、嶋守秀利副

会長（印刷関係）南支部）、三輪昭三共済会会長（大工）
済美南支部）、南増義會計（家具）
富雄支部）、宇野達雄さん（縫製）
学園前支部）ら11人が参加しました。

はじめに浜中会長は「菅政権が発足しましたが、安倍政治の継続」を掲げ、新鮮味はありません。コロナ不況の回復まで何年もかかるといわれています。

業者の暮らしをよくするため、声を上げて政治を変えましょう」とあいさつ。

霜鳥純一事務局長は、この間、コロナ対策にとりくむ中、9月は持続化給付金を8人、家賃支援給付金を29人、国民健康保険料の減免を18人、介護保険を23人が申請するのを支援したこと、4月からの累計で、前年度の1年間の入会者を上回る、44人の入会者を迎えていることなどを報告。みんなで成果を確認しました。

今後の活動については、10月18日に宣伝・対話統一行動にとりくむこと。11月15日の全商連第53回定期総会に向けて、商工新聞読者、会員の仲間を増やすことなどを決めました。

新開京子さん（造園）伏見北支部）は9月の婦人部世話人会を振り返り、元氣もえたなあ。何でも言える婦人部ならではのよさを実感できてよかった」と話しました。

三輪共済会会長は、奈良県で今日もコロナの感染者が5人出ましたね。非接触の検温器を購入したので、活用して下さい」と話しました。



「家賃支援給付金は申請に対しわずか3割の支給」に怒りの声も。